



〈編集・発行〉
ソワニエ看護専門学校
〒703-8265
岡山市中区倉田394-3
電話(086)274-6455
ホームページ:
<https://www.soigner-nc.jp>
E-mail:info@soigner-nc.jp
〈発行責任者〉 奈木野 佳代



看護学の基礎を学び
「看護の道」への誓いを新たに

学校長 木村 高清

入学式以降も緊急事態宣言などのたび、生活や学びの環境も変則的になるなか、27期生、41名の戴帽式を11月6日、昨年同様規模を縮小して行った。

戴帽式は入学や卒業式と同じように極めて重要な儀式である。看護学の基礎を学び、いよいよ本格的な病院実習で初めて患者さんに接する看護学生が「看護の道」への誓いを新たにするための儀式である。戴帽・キャンドルサービスの後、本校では他校ではあまり見られない戴帽生自らの考えと総意で作上げた「誓いの言葉」が斉唱される。以下、紹介する。

「一 私たちは常に周囲の方々に敬意を払い、誠実な姿勢で看護の知識・技術を学びます。

一 患者様の気持ちを理解し、一人ひとりに寄り添った看護を学びます。

一 常に視野を広くし、謙虚に学ぶ姿勢で向上心を持ち看護の道を進みます。

私たちは、患者様の立場に立って考え、安心感を与えられる看護師を目指します。」と述べ、そして「同じ志を持つ仲間とともに、思いやりの心を大切にして助け合い励まし合い、感謝の気持ちを忘れずどんな困難も乗り越えていくことを誓います。」と結んでいる。

看護師を目指して入学後、7か月あまり。改めて、その志を仲間の絆とともに決意できたのではないかと思う。

この「誓いの言葉」を礎に病院、診療所、介護施設、在宅での実習では能動的かつ自主的な姿勢で患者さんから学び、患者さんを全人的にとらえる看護を学んで欲しい。そして人間の命の尊厳を何よりも大切にし、患者の人権を守る豊かな感性を持った看護師に成長するよう期待する。

2022年度入学生から 新カリキュラムへ



新設科目

- ・コミュニケーション ・倫理学
 - ・生活と労働 ・地域看護学(フィールドワーク)
 - ・臨床看護総論Ⅲ(臨床判断能力)
- その他、合計104単位

新カリキュラムの特徴

『地域にクラス人々と共に在る看護』
『地域包括ケアシステムの中での看護師としての役割を学ぶ』

在宅看護論から地域・在宅看護論への名称変更だけでなく、地域でクラス人々との交流を図る地域フィールドワークを取り入れます。

また、看護師として必要なコミュニケーション能力や倫理学、臨床判断能力の育成により、地域の人びとに寄り添う質の高い看護師の育成を目指します。



編集後記

コロナ禍の生活が長く続く中でも、学生たちは学習環境を確保し懸命に頑張っています。療養者や患者・家族の思いに寄り添う素敵な看護師になってほしいと願っています。

2023年度 入試案内

学科：看護学科 3年課程
募集定員：40名 男女共学
※学校説明会：毎月開催(ホームページに掲載)



◆専願(指定校、一般推薦)

試験区分	出願(願書受付) 10月1日解禁	試験日	合格発表
一次入試	2022年 10月1日(土)～10月11日(火)【必着】	2022年10月15日(土)	2022年10月18日(火)
二次入試	2022年 10月26日(水)～11月15日(火)【必着】	2022年11月19日(土)	2022年11月22日(火)

◆大卒・社会人(専願)

試験区分	出願(願書受付) 10月1日解禁	試験日	合格発表
一次入試	2022年 10月1日(土)～10月11日(火)【必着】	2022年10月15日(土)	2022年10月18日(火)
二次入試	2022年 10月26日(水)～11月15日(火)【必着】	2022年11月19日(土)	2022年11月22日(火)

◆一般入試の日程

試験区分	出願(願書受付)	試験日	合格発表
一次入試	2022年 11月16日(水)～12月6日(火)【必着】	2022年12月10日(土)	2022年12月13日(火)
二次入試	2022年 12月14日(水)～2023年1月10日(火)【必着】	2023年1月14日(土)	2023年1月17日(火)
三次入試	2023年 1月23日(月)～2月14日(火)【必着】	2023年2月18日(土)	2023年2月21日(火)
四次入試	2023年 2月21日(火)～3月14日(火)【必着】	2023年3月18日(土)	2023年3月22日(水)

社会人の方が対象となる、専門実践教育訓練給付制度もぜひご利用ください。支給対象者については、お近くのハローワークにご確認ください。

資料請求・お問い合わせ

(公財)林精神医学研究所 ソワニエ看護専門学校
☎086-274-6455 HP: <https://www.soigner-nc.jp> 担当: 福田・石原



2年生 26期生

2年生 政木 陽菜

今回の老年看護学Ⅰ実習を通して、様々な高齢者の方と関わることで価値観の違いや生活背景を踏まえたケア内容などについて学ぶことができました。価値観を否定せずに尊重していくことが、患者さんありのままに捉えるということにつながると私は感じました。
これからの実習において、患者さんありのままに捉えることは患者さんが本当に望んでいるケアを行ったりアセスメントを行ったりする際にも必要になってくると思います。患者さん個々に合わせたケアを行うことができるよう日々のコミュニケーションを大切にしていきたいと思っています。



3年生 25期生

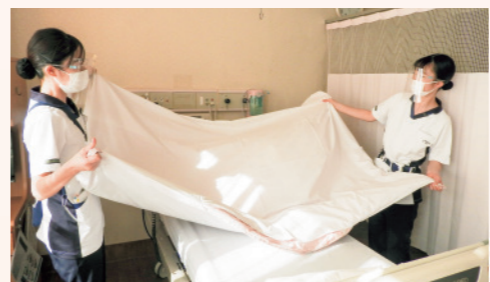
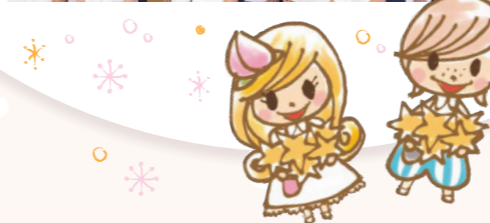
3年生 惣市 綾乃

私たち3年生は、11月末に長かった各論実習、そして総合実習を無事に終えることができました。昨年から新型コロナウイルス流行により、ほとんどが学内実習となりました。最後の総合実習は臨地実習に行けることとなりましたが、臨床経験が浅い私たちにとっては不安が大きかったです。実際には、指導者や教員、何よりも患者様が、その方に必要な援助はなにかを考え実践することの大切さを教えてくださいました。直接、患者様に援助させていただくことや、医療現場での臨場感を肌で感じる事が嬉しく、充実した3週間でした。
看護学校での実習がすべて終了し、これからは卒業論文を書き上げ、国家試験合格に向けて勉強のラストスパートです。看護師国家試験まで残り100日をきりました。25期生は「やる時は全力で頑張ることができよう」クラスなので、励まし合い、助け合いながら全員合格できるように致団結し頑張っていきます。



27th Capping ceremony

27期生 戴帽式



1年生 27期生

1年生 平明花莉

4月にクラスのみんなと顔を合わせてから早いものでもう半年以上の月日が経ちました。新型コロナウイルスの影響により新入生歓迎会や球技大会などの行事は中止となり、みんなとの交流機会は減ってしまいましたが、学年全体の雰囲気も良く、すぐにみんなと打ち解けることができました。テストの時はお互い助け合いながら勉強したり、休み時間は楽しくお喋りしたり、クラスメイトが間違えたことをしていたら注意し合えたりするなど、メリハリのある明るいクラスです。
9月の基礎看護学実習1は、コロナウイルス第5波の影響により学内実習となってしまいましたが、看護のDVDを視聴して気づいた点をグループで意見交換したり、患者さんとのコミュニケーションや療養環境を知るためのシミュレーションをしたりしました。グループで方法や留意点などを考えて実施し、実施後にみんなで振り返りを行うことで様々な気づきや考えがあることも知ることができ学びが深まりました。
戴帽式では、「自分たちがどんな看護をしたいのか、どんな看護師になりたいのか」といった自分たちの思いを込めた誓いのことを宣言することができました。戴帽式当日までの練習を通して、クラスの結束がより深まり素晴らしい式となりました。
11月末から、いよいよ初めての臨地実習である基礎看護学実習Ⅱが始まります。実際に看護師さんなどのように患者さんと関わっているのか、患者さんが快適な入院生活を送るための病院の設備や環境はどのように整えられているのかなど、実際の見学や経験を通して、たくさん気づきや学びを得たいと思います。初めての臨地実習ということで不安もありますが、自分たちが学んだことを活かしながら頑張りたいと思います。